



南部町立南部中学校 学校だより 第20号

# チーム南部中

令和3年1月14日(木)

校長 望月和彦

## 丑年は“粘り強く誠実に” 3学期が始まりました

1月8日、身の引き締まる寒さの中でしたが、体育館にて3学期始業式を行いました。始業式と終業式では毎回、各学年と生徒会の代表者が抱負や反省を発表します。2学期の終業式には、1年村松士輝さん、2年朝夷礼央さん、3年遠藤禅さん、生徒会事務局望月天斗さんが、「2学期を振り返って」を立派に発表してくれました。今回は「3学期の抱負」です。1年の佐野結菜さんは「提出物や無言清掃など、当たり前前を当たり前前のできる学年にしたい。」2年の四條海翔さんは「3学期は3年生になるための0学期であるので、観察力、行動力、思いやりを持って学校をリードできるようにがんばりたい。」3年の田中希実さんは「受験は団体戦でもあるので、仲間と一緒に頑張りたい。受験と同じように日常生活を大切に、1・2年生に何かを残したい。」新生徒会長の佐野遥斗さんは、「日常生活を大切に、仲間と温かい雰囲気のある学校をつくりたい。どんな困難に遭っても、強い心を持って、希望の種をまいていけるような学期にしていきたい。」4人は自分自身の言葉で3学期にかけの思いを堂々と述べてくれました。社会は新型コロナウイルスの拡大で、暗く厳しい状態が続いていますが、4人の発表を聞き、本校の生徒たちは3学期も確実に成長してくれるだろうと自信を持ちました。



始業式の中で、私は次のような話をさせていただきました。

昨年は新型コロナの影響で、学校の教育活動が大きく制限され、中止や縮小せざるを得なかった行事もあり、生徒の皆さんには辛い思いをさせたことも多くありました。しかし、…中略…輝城祭や音楽発表会、部活動、修学旅行や県内めぐりなど「こんな状況でも立派に成功させた」という手ごたえを感じる場面が何度もありました。

新しい年を迎えても、昨日は国内で1日の感染者が7,500人を超え、県内でも35人の感染者が発生し、拡大傾向に歯止めがかかっていません。そうした中で3学期のスタートです。2学期に引き続き厳しい状況ですが、見方を変えれば、皆さんも、社会のすべての人々も、コロナ禍の中でしか学べないことを学んでいるのです。医療・福祉従事者など年末年始にも日常生活を支えるために一生懸命働いてくれている方々への感謝の気持ちを持ちながら、今こそ「想定外の事態に対応する力」を身につける機会ととらえていきましょう。まずは、健康や安全を第一に考えた学校生活を送ることです。3学期の授業日は、1・2年生は52日、3年生は42日と、大変短い学期です。1・2年生は臨時休業のために短くなった1学期とちょうど同じ。3年生は10日も少ないわけですから、ほんとうにあっという間です。短い3学期ですが、それぞれの学年のまとめの期間であり、3年生にとっては中学校生活、義務教育の締めくくりの学期となります。2学期までの成果をさらに伸ばし、課題を少しでも改善して、3月末には一人一人が1年間の成長を実感し、この仲間、この学級、この学年、この南部中で「1年間あるいは3年間やってこられて本当に良かった」と心から思えることを望みます。そして3年生は、それぞれの進路実現のときです。最後まで力を振り絞り、入試という壁をみんなで乗り越え、喜び合える3月を迎えられることを祈っています。

ちなみに、令和3年の干支は「丑」です。牛は、古くから酪農や農業で人々を助け、大変な農作業も最後まで地道に黙々と手伝ってくれる生き物です。そのため牛は「粘り強さと誠実さ」の象徴となっています。皆さん一人一人も、自分の夢や目標をしっかりと心に描いて、多少の苦しさや困難にも負けず、牛のように地道に一つ一つ目標目指して粘り強く取り組んでほしいと思います。皆さんの3学期での活躍を期待しています。

# 生徒会活動もバトンタッチ

12月23日に第2回生徒総会が行われました。内容は令和2年度の3年生を中心とする生徒会活動の総括です。今年度の生徒会は、生徒会目標の「自分と仲間の幸せを追求できる学校」の実現を目指して、仲間の成長のために「個性を認め、相手の立場に立って考えられる南部中生」、集団の成長のために「互いの成長のために関わり合い、喜び合える南部中生」、個の成長のために「理想の自分を描き、努力できる南部中生」という3つの柱を掲げて、取り組みを進めてきました。「幸せボード」や「身につけたい力交流会」など新しい取り組みも行われましたが、何よりも生徒会活動の意義と目的をしっかりと考え、取り組みの過程を大切に、当日のできよりも今後の生活にどう生かしていくかに重点を置いて様々な活動を行っていたところが素晴らしかったと思います。コロナ禍の中で、例年通りにできないこともたくさんありました。毎回、蒙軒ホールで行っていた生徒総会は、1回目は各教室で生徒会役員が出向いて話し合いを行い、意見を代表委員会に持ち寄って議決する方法をとり、今回は統合以来初めて体育館での実施となりました。蒙軒ホールより発表者の顔が見やすく、全校生徒が向き合って話し合いができる点は蒙軒ホールよりも良かったと思います。第10回輝城祭は1日に短縮したものの、「だからこそ」のテーマのもと新しい輝城祭のスタイルをつくりあげた今年度の生徒会でした。



第2回生徒総会の最後には、旧生徒会役員と新生徒会役員の引き継ぎ式がありました。素晴らしい生徒会活動を創り上げた3年生の思いを引き継ぎ、2年生を中心とする新生徒会がどんな活動を繰り広げるか、今からとても楽しみです。

新生徒会役員（事務局）は次の8人です。

生徒会長	： 佐野 遥斗 さん	
副会長	： 入月 瑛大 さん	中野 綺萌 さん
書記	： 望月 玲 さん	鈴木 湊羅 さん
議長	： 前田 鈴音 さん	若林 雅斗 さん
総務	： 芦川 圭澄 さん	



## アンサンブルコンテストで「金賞」

12月19日（土）に山梨県吹奏楽連盟主催の第44回アンサンブルコンテストがYCC 県民文化ホールで開催されました。吹奏楽部から石川侑音さん、佐野遥斗さん、四條海翔さん、中野綺萌さん、望月優香さんの5人がサクソフォン五重奏で出場しました。曲は「Foster Rhapsody」です。この日に向けて12月から活動時間を延長し、下校時にはご家族に迎えに来ていただいて、取り組んできました。例年なら本番前に朝集会を開いて、全校生徒の前で発表を行うのですが、今回は感染症予防のために実施できず、前日の夕方、応援に行くことができない保護者と教職員の前でプレ発表会をしてくださいました。チームワークと一生懸命さが伝わってくる演奏でした。そして当日、5人は見事「金賞」を受賞しました。アンサンブルコンテストでの金賞は、統合初年度の9年前に受賞して以来の2回目です。新たな歴史をつくってくれました。おめでとう。



## 自転車安全運転講習会

12月25日の放課後、自転車で登下校している生徒を対象に、南部警察署交通課の斎藤さんと向井さんが自転車の安全な運転方法について話をしてくれました。自分や相手の命を守る運転を心がけてほしいです。



## 校内書き初め大会

1月8日始業式の午後、書き初め大会を行いました。1年生の課題は「初夢」、2年生は「山紫水明」、3年生は「和気致祥」。全校生徒が集中し、心を込めて書きました。

